

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	人工関節置換術・再置換術における同種骨組織移植の実施
研究担当者	橋本市民病院 整形外科 峰 巨
目的・概要	人工関節置換術後に発生したゆるみは、骨欠損を伴い、人工関節再置換術に際して、インプラントの安定した設置とともに骨欠損部の修復が必要となる。骨欠損部に対する対策として、金属製補強部品の充填や、自家骨移植などの方法が挙げられる。金属製部品の場合は、提供されている部品の形状が様々な骨欠損部の形状に適合するとは限らないこと、周囲にさらなるゆるみが発生する危険性があることなどの問題点がある。また自家骨移植は採取できる量に限りがあり、骨欠損の程度が大きい場合には自家骨のみで対応することは極めて困難である。現在、骨欠損が大きい場合の同種骨の使用に際して、倫理的配慮、感染症や悪性腫瘍などの疾患の伝播に予防など日本整形外科学会で発行されている「整形外科移植に関するガイドライン」に沿って実施する。
研究対象 実施機関 実施場所等	対象: 当院で手術を受ける患者に限る 移植骨提供者・・・初回の人工関節置換術(股・膝)・人工骨頭置換術を受ける患者 同種骨移植対象者・・・初回の人工関節置換術(股・膝)または人工関節再置換術(股・膝)を受ける患者で手術部位に著しい骨欠損を伴っている場合 実施機関および実施場所: 橋本市民病院中央手術室
研究期間	2017年3月31日～
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報保護の保護等	日本整形外科学会のガイドラインに示された9つのガイドラインを遵守する。①倫理委員会の承認②移植骨提供に係る任意性の確保③採取および移植にあたっての十分な説明と同意④提供の社会性・公共性およびドナーの尊厳の確保⑤無償の提供⑥費用の負担⑦安全性および有用性の確保⑧個人情報の保護⑨情報の公開
備考	